

フィリピン・スミフル労働者の闘いに連帯を！

スミフル（住友商事系列）はバナナ農園労働者の権利を尊重せよ！

いまフィリピン・ミンダナオ島の日系進出企業下で深刻な労働者の権利侵害、労働組合のたたかいに対する弾圧が起こっています。

● ストライキに立ち上がった労働者たち

フィリピンのコンポステラ・バレー州（ミンダナオ）でバナナ農園を経営するスミフル・フィリピン（住友商事系列）の労働者約 900 人は、従業員の正規職化や福祉手当の支給などを要求して、10月1日より同州に 11 あるバナナ梱包工場のうち 7 箇所を封鎖するストライキを開始しました。

● 軍隊を使った弾圧や組合員の暗殺事件

このストライキに対して、10月11日、フィリピン国軍などを動員した暴力的な強制排除が行われ、多数の負傷者が発生しました。さらに10月31日には「何者か」による組合員の暗殺事件、11月11日には別の組合員に対する同じく「何者か」による暗殺未遂事件が起きました。労働者の正当な要求に対して、軍隊を使った弾圧やたたかう労働者に対する殺害事件が起こっているのです。

しかし、5月1日労働運動センター（KMU）傘下のスヤパ農園労働組合（NAMASUFA）に結集するスミフル・フィリピンの労働者たちは、このような弾圧にも屈することなく、現在もストライキを続け、11月24日には組合員約 300 人が問題を広く訴えるべくミンダナオからフィリピンの首都マニラに向けたキャラバンに出発します。

● スミフルは労働組合を認め、フィリピンの労働者の権利を尊重せよ！

スミフルは日本へのバナナ輸入の約 30%を占めるトップブランドのひとつです（「甘熟王」や「スミフルバナナ」など）。しかし、そのバナナはフィリピンの労働者の過酷な条件の下でつくられています。スミフル・フィリピンは、これまでも一貫して労働組合を認めず、その団体交渉に応じてきませんでした。このような状況を変え、労働者の権利を無視した日系進出企業の横暴を止める労働者の国際連帯が求められています。



ストライキに立ち上がったスミフル・フィリピンの労働者たち（2018年10月1日）

アジア共同行動（AWC）日本連絡会議

連絡先 京都府宇治市広野町西裏 99-16 パール第二ビル 3F 自立労連気付

TEL: 0774-43-8721 Eメール: awcjapan21@yahoo.co.jp Website: www.awcjapan.org

NAGKAHIUSANG MAMUMUO SA SUYAPA FARM

スヤパ農園労働組合 (NAMASUFA)

2018年11月17日

スミフル・フィリピンの900人以上の現場労働者で構成されるスヤパ農園労働組合 (NAMASUFA) は、アジア共同行動 (AWC) 日本連絡会議に対して、フィリピンの国家治安部隊による支援を受けたスミフル・フィリピン社による深刻な労働者の権利侵害に反対するキャンペーンを日本の労働組合および労働者グループのなかに広げていただくよう要請いたします。

この問題は10月31日の組合員ダニー・ボーイ・バウティスタの殺害、および、11月11日のジェリー・アlicantの殺害未遂・負傷事件によっていっそう深刻なものになっています。

私たちはフィリピン最高裁によって我が労働組合が公式で合法的な労働組合であると認められたにもかかわらず、スミフル・フィリピン社がわれわれとの労働協約 (CBA) にもとづく団体交渉に応じないため、10月1日以来ストライキを行っています。

その理由以外にも、スミフルの労働者はミンダナオでの戒厳令の布告によって、深刻な打撃を受けています。

2018年4月に行われたスミフル社に関する真相調査団の報告にはフィリピン国軍による個々人に対する数百件の労働権侵害事例が記録されており、2018年9月4日にはNAMASUFAの執行委員ビクター・アゲアスに対する暗殺未遂事件が起こっています。

フィリピン国軍とフィリピン国家警察はまた、さる10月第二週にストライキに対する違法で暴力的な排除を行い、ピケットラインを強制的に撤去し、その結果負傷者や逮捕者が発生しました。

きたる11月24日、300人の組合員がミンダナオからマニラに向けた大行進／キャラバンを行います。12月10日まで労働雇用省前およびメンジョーラ（大統領府近く）で座り込みを行う予定です。

AWC 日本連が、他の労働組合・労働者グループに支援の輪を広げていただくことを含め、私たちの闘いへの支援を寄せていただくことをお願いする次第です。

連帯を込めて

NAMASUFA-NAFLU-KMU 委員長

パウル・ジョン・ディゾン